

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学では、福島県立医科大学倫理委員会にて承認された下記の研究に協力します。本学における診療情報の提供について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 2月

福島県立医科大学総合周産期母子医療センター 郷勇人

■ 研究課題名

新生児疾患と赤血球分画、胎児ヘモグロビンとの関連についての症例対照研究

■ 研究期間

2023年2月 ～ 2025年3月

■ 研究の目的・意義

新生児医療の発展により、赤ちゃんの救命率は向上してきましたが、未だに、早く生まれた赤ちゃん（早産児）、小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）など出生直後から積極的な治療が必要な赤ちゃんがいます。低出生体重児がかかりやすい病気として、新生児慢性肺疾患、壊死性腸炎、未熟児網膜症という病気があります。いずれの病気も将来にわたる神経学的後遺症を残す可能性がある新生児医療では重要な疾患のひとつです。どのようにしたら予防や新しい治療ができるのかといった問題について、これまで多くの研究がなされてきました。しかし、その詳しいことはまだわかっていません。

血液の役割はたくさんありますが、最も重要な役割は、酸素や栄養素を体全体に配ることです。中でも赤血球は酸素の運搬の担う重要な血球です。新生児は、赤血球の中にあるヘモグロビンが成人のヘモグロビンとは異なり、胎児ヘモグロビンが大部分を占めます。しかし、赤ちゃんにおける胎児ヘモグロビンの重要性については明らかにされていません。そこで、本研究では、新生児集中治療室に入院した赤ちゃんの胎児ヘモグロビンなどの赤血球に関する値と上記の疾患の発症や予後に関する研究を行います。

本研究では、未熟児新生児集中治療室に（NICU）入院した赤ちゃんの生後の定期採血の結果から、胎児ヘモグロビン等の情報を収集し、上記疾患の予後との関連を明らかにすることで

診断や治療に役立つことが期待できます。

■ 研究対象となる方

- ・研究対象者：2006年から当院NICUに入院した患者さんを対象としています。

■ 研究の方法

- ・ 試料・情報の種類：出生時の出生体重、在胎週数、アプガールスコア、性別などの出生時情報や生後の酸素治療期間、人工呼吸管理期間生後の情報、生後の血液検査データ（胎児ヘモグロビン値、赤血球数、赤血球分画、ヘモグロビン値）
- ・ 試料・情報の利用方法：血液検査データをについて計学的手法を用いて解析します。

■ 研究組織

- | | |
|-------------------|----------|
| （所属）総合周産期母子医療センター | （氏名）郷 勇人 |
| （所属）総合周産期母子医療センター | （氏名）小笠原啓 |
| （所属）総合周産期母子医療センター | （氏名）前田創 |
| （所属）総合周産期母子医療センター | （氏名）市川弘隆 |
| （所属）総合周産期母子医療センター | （氏名）蛭田俊 |

■ 試料・情報の提供について

既存の検査データ、情報を用いるため、新たな試料・情報提供はございません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター 担当 郷 勇人

電話:024-547-1111

E-mail:go-h@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177

■ 試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先

試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている

作成日： 2022年12月14日（第1版）

場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター 担当 郷 勇人

電話:024-547-1111

E-mail:go-h@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177

